

がまこおり 議会 だより

● 5月市議会臨時会・6月市議会定例会 ●

- 5月臨時会／議決された主な議案…………… 2～3
- 6月定例会／一般質問…ここが論点 …… 4～7
- 6月定例会／議決された主な議案…………… 8～9
- 会議録検索システム…………… 10
- 委員会通信…………… 11
- 議会日誌、9月定例会予定…………… 12

NO. 44
2005 8/1



正副議長の選挙・各委員会の構成などを決定

5月臨時会
議案

5月市議会臨時会は、5月12日、13日の2日間の会期で開きました。今議会では、中野房子議長、白井邦男副議長を選出し、各委員会の構成を決めました。また、議案6件を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。その主な内容をお知らせします。

5月臨時会の日程

12日	本会議〔会期の決定、議案説明等〕 総務委員会 経済委員会
13日	本会議〔委員長報告、質疑、討論、採決、監査委員の選任、正副議長の選挙、委員会委員の選任等〕 総務委員会 経済委員会 文教委員会 議会運営委員会 国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会

● 国保特別会計の補正 (第38号議案)
療養給付費の執行のため保険給付費の退職被保険者等療養給付費を1200万円増額し、諸支出金の一般被保険者償還金が1200万円減額されました。

年度	均等割	所得割
18年度	税率 1,000円	3分の2 相当額を 控除
19年度	税率 2,000円	3分の1 相当額を 控除

● 特定株式譲渡所得等の課税の特例を延長 (第37号議案)
地方税法の改正に伴い、特定中小会社の特定株式に係る譲渡所得等の課税の特例について、特例の対象となる特定株式の取得期間が平成19年3月31日まで2年間延長されました。

● 65歳以上の非課税措置廃止に伴う特例の新設 (第39号議案)
地方税法の改正による年齢65歳以上の人に係る非課税措置廃止に伴い、課税への激変を緩和するため、左表のように個人市民税を段階的に課税するよう市税条

専決処分の承認

条例の改正

区分	氏名 (◎委員長 ○副委員長)
議長	中野房子
副議長	白井邦男
監査委員	土屋善旦
常任委員会	◎伊藤勝美 ○喚田孝博 土屋善旦 竹内政幸 小林康宏 来本健作 中野房子 柴田安彦 波多野努
	◎鈴木八重久 ○斉藤泰一 松本昌成 鈴木源六 鎌田篤司 莊田博己 藤田勝司 山本和市 坂部 傑
	◎小林武男 ○大竹利信 大場久充 伴 捷文 大向正義 白井邦男 竹内政住 日恵野佳代
議会運営委員会	◎坂部 傑 ○伴 捷文 大場久充 小林武男 柴田安彦 斉藤泰一 莊田博己 伊藤勝美
国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会	◎竹内政住 ○鈴木八重久 伴 捷文 柴田安彦 大向正義 鈴木源六 鎌田篤司 斉藤泰一 伊藤勝美 坂部 傑

● 監査委員の選任
議会議選出の鈴木八重久議
例が改正されました。対象者は、平成17年1月1日において年齢65歳に達していた人で、かつ、前年の合計所得金額が125万円以下の人です。

● 物品の購入
モーターボート競走用モーター60基を3931万2000円で、ボート65隻を3625万3717円でヤマト発動機(株)から購入します。

議長に中野房子氏

副議長に白井邦男氏を選任

議案審議の終了後、竹内

政幸議長の辞職に伴い、議長

の選挙が行われました。投票の結果、中野房子議員が第52代議長に当選しました。

続いて、坂部傑副議長の辞職に伴い、副議長の選挙も行われ、投票の結果、白井邦男議員が第54代の副議長に当選しました。

(注・代数の違いは、現職

の死亡によるものです。)

次に、任期満了による各

常任委員と議会運営委員、特別委員の選任を行い、それぞれ互選により正副委員長を決定しました。各委員

会などの構成は、2ページの表のとおりです。

その外に、蒲郡市幸田町衛生組合議会議員の選挙が行われ、7名の議員が当選

しました。

各委員会の

内容は

●常任委員会

市の事務の部門ごとに置かれ、それぞれの部門に属する事務の調査を行うとともに、議案、請願などの審査をします。

各委員会の主な担当事項は次のとおりです。

○総務委員会

行政の総合的な企画・調整。予算、財産、消防など。監査委員、選挙管理委員会

に関することなど。

○経済委員会

観光、産業振興、道路、河川、公園、都市開発、上下水道、区画整理、競艇事業など。

○文教委員会

市民生活、健康、福祉、市民病院、教育など。

●議会運営委員会

議会運営を円滑に行うために置かれ、会派間の意見調整と会議を能率的に進行させる役割を担う委員会です。

他の委員会が所管の議案等を審査するのに対し、議会運営全般にわたる事項を審査するのが特徴です。

●国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会

市街地の交通緩和と観光及び産業経済活動の活性化に期待される国道23号蒲郡バイパスの諸問題の調査研究と早期建設を図るために設置されています。

就任ごあいさつ



副議長 白井邦男



議長 中野房子

日ごろから市政全般にわたり、市民の皆さまには温かいご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

このたび、私も、5月臨時会におきまして、議長・副議長に選出されました。その重責を痛感するとともに、職務の遂行に全力を傾ける所存でございます。

長引く不況も回復の兆しがみえ、愛・地球博の盛況など明るいニュースを耳にするようになりました。しかしながら、少子高齢化の進行、災害・治安などへの不安の高まり、こうした社会の急激な変化に対応した市政への期待や要望が多く聞こえてまいります。このような市民からの要望に応えるため、市民が安心して暮らせるまちにしたいと強く願うものです。

そのために、市議会の果たす役割は、非常に重要であります。議決機関として市民の皆さまの意思を迅速に察知し、それを市政に確実に反映させていくこと、さらに、皆さまの代表としても重要な責務であると考えております。

私たちのまち蒲郡を住みよいまちにするために、尽力することを申し添え、就任のあいさつとさせていただきます。

5月臨時会で審議された議案一覧

- 専決処分の承認
- ③7 市税条例の一部改正
- ③8 平成16年度国民健康保険事業特別会計補正予算(専決第1号)
- 条例の一部改正
- ③9 市税条例の一部改正
- ④0 手数料条例の一部改正
- 同意
- ④2 監査委員の選任
- その他
- ④1 物品の購入(モーターボート競走用モーター及びボート)

(○内の数字は議案番号。すべて全会一致で可決・承認されました。)



一般質問…ここが論点

6月定例会

6月定例会中、10日、13日、14日の3日間で、市政全般について15人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。詳しい内容をお知りになりたい方は、6月定例会会議録（9月上旬発行予定）を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システム（9月上旬掲載予定）をご覧ください。

大竹利信（公明党）

災害時要援護者（災害弱者）対策について

問 被災弱者といわれる被災障害者と高齢者の緊急保護対策の実施と視覚障害者用の防災マニュアルを作成する考えはないか。

答 支援を必要とする方を把握するための登録制度を検討している。地域の安全は地域で守る機運を高めたい。視覚障害者用の点字または声のガイドブックは作成していきたい。



登下校時の安全確保を

問 小中学生の登下校時での安全対策とパトロールボランティアの推進について伺う。また、青パト活用に対する助成をする考えがあるか。

答 不審者の増加と凶悪化が進む中で、これまで以上に関係機関の連絡を密にして地域ぐるみで対処したい。青パトの助成は行う。

伊藤勝美（公明党）

内部障害者に理解を

問 心臓、呼吸器、肝臓等の内臓機能に障害を持つ内部障害者の理解を広げるため、「ハート・プラス」マークを市の窓口に掲示してどうか。

答 外見上わからない内部障害者は、市内に689人登録されているが、内部障害者の苦悩を理解してもらうため、市の福祉関係の窓口に「ハート・プラ



～「ハート・プラス」マーク～
内部障害者への理解を深めるため、「ハート・プラスの会」が提唱するマーク。

ス」マークを掲示し、広報等でも周知したい。

KYT（危険予知トレーニング）の実施について

問 学校内でのケガ・事故防止のため、市内の小中学校でKYTを実施できないか。

答 KYTは事故防止に有効な手段と認識している。安全指導の授業の中でKYTも取り入れて事故防止に努めたい。

日恵野佳代（日本共産党）

ひきこもり対策

問 ひきこもりの半数以上は高校卒業後に発生し

ており、年数は長い人で20年以上になる。ひきこもり専門の相談窓口と検討委員会を設置すべきではないか。

答 市の相談窓口は、保健センターが対応することになり、保健・福祉・児童・教育等の関係機関で検討委員会の設置について協議を進める。

「心の教室相談員」の配置を

問 スクールカウンセラーが配置されていない蒲中・西浦中・大塚中に、子どもの相談窓口を確保するため「心の教室相談員」を市の予算で配置すべきでないか。

答 「心の教室相談員」は、子どもたちの心の安定に大変役立つっており、相談員の配置は検討したい。

波多野 努（新政クラブ）

地域の伝統文化や文化財の紹介を

問 市内各地域の人たちによって守り継がれてき

た伝統文化や、大事にされてきた文化財を、広く市民に紹介してはどうかと考えるが、今後これに取り組み考えはあるか。

答 また、取り組みとすれば、どんな手法で行うのか何う。地域の伝統文化や文化財を広く市民に紹介することは、大変意義のあることだと考えている。

早速、各地域の由緒ある建物、構造物の調査に取りかかりたい。調査方法は博物館の資料と各地区総代からの連絡、また、管理者に直接伺うことも考えている。調査後に、紹介パンフレット、紹介マップ、冊子にまとめるなどの方法も合わせて検討していきたい。

その他の質問

1 特定区画バス補助

来本健作（未来の会）

地域における

学校のあり方について

問 学校内での安全管理と防犯対策にどのように



対応し実施しているか。

答 不審者対応マニュアル、学校安全マップを作成し対応している。また、安全対応能力の向上を図るため防犯教室を開催している。

問 地域と一体となった学校づくりの現状はどうか。また、児童生徒の地域行事への参加について何う。

答 学校行事、授業参観など保護者や地域の方々に学校に来ていただく機会を計画している。また、授業や部活動に外部講師として協力いただいている。地域行事へは各学校とも積極的な参加を指導している。

その他の質問

1 観光イベント、まつりの現状と今後の展開

2 イベントマップ、観光カレンダーの作成

松本昌成（公明党）

かるたを遊びながら食育の推進を

問 近年、食を通じて子どもへの健全育成を目指す食育が注目されている。食育を今後どう推進するのか考え方を何う。

答 また、食育推進のため保育園等で遊びながら学べるかるたを導入したらどうか。今後も家庭、地域、学校との連携、連続性のある事業を推進していく。かるたを通じて食の大切さを学ぶことは、おもしろいアイデアだと思う。園長会等で一度検討してみたい。



性同一性障害の方への配慮は

問 性同一性障害の方に対する行政側の配慮が求められているが、これにどう対処するか。

答 公文書、申請書などから可能な限り、性別記載欄を削除する方向で検討していく。

大場久充（市政クラブ）

クリーンセンターは昼休みも受付を

問 クリーンセンターでは昼休み時間は受け付けをしていない。市民サービス拡大のため、人員配置をやり繰りしてでも受け付けをすべきではないか。

答 また、勤務時間終了前に帰る職員が多く見受けられるが、職務専念義務に違反していないか。昼休みに開業する場合、それぞれの担当の配置が手薄になり、ごみの受け入れ処理と、市民の安全確保が難しい。さらに、補完

クリーンセンター



する新たな人員の手当てとして約300万円の費用を要するので、当面昼休みの受け付けを行う考えはない。早退者は市職員ではないと確信しているが、直ちに調査する。

その他の質問

1 天下りと再任用

2 ボランティア

鈴木八重久（市政クラブ）

スパ・西浦

モーターパークについて

問 西浦の原山採石場跡地開発として、サーキット



スパ・西浦モーターパーク予定地

ト場「スパ・西浦モーターパーク」の建設が発表された。事業内容にある「学校教育にない交通安全教育」とはどういうものか。

また、交通渋滞等への対策、経済効果等はどうか。

答 交通安全教育は、車両衝突や制動の実演、プロドライバーによる走行実演や同乗体験など、机上ではなく、実体験による有意義なものとなると思う。

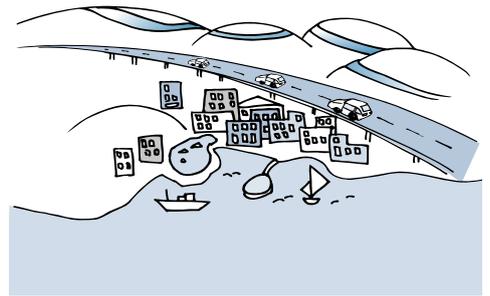
イベント時には1000台、2000人の観客が見込まれ渋滞は必至。企業側もパーク&ライドの実施、時間差解散などの対策を検討

問 指定管理者制度は、民間の活力や技能を公の施設の管理運営に生かして、住民サービスの向上と経費削減を図ることが目的である。しかし、市は、公募の範囲を原則市内に事務所または事業所を有する法人・団体に限定し、閉鎖的なものとした。制度の趣旨を達成するためには、必要な制限は例外規定とし、入り口は広くするべきではないか。

答 この制度により、施設管理の選択肢が大幅にふえたが、経済性だけを重視することがベストだとは考えていない。市税を主な財源とする委託料が、可能な限り市内で循環する形態

討しており、市も警察と連携し対策にあたりたい。経済効果は、具体的な試算はしていないが、来場者の宿泊、飲食、給油所や各種小売店利用などかなりの効果があると考えている。

大向正義（未来の会）
指定管理者制度について



を望むものである。協働のまちづくりという考えから、地元に着目した施設は、地元と一体となり管理運営されることを望ましく、この制度を住民参加のきっかけにしたいと考えている。

柴田安彦（日本共産党）
福祉給付金の自動払い実施を

問 福祉給付金は、障害者や市民税非課税のひとり暮らし老人などの医療費を無料にする制度である。蒲郡市では、事前の認定手続きと受診ごとに医療機関の証明が必要で、半年ご

とに払い戻しの手続きをしなければならぬ。一度の登録で、自動的に支給される「自動払い」制度を実施すべきではないか。

答 自動払いの実施は、受給者の利便性向上、医療機関や市の事務量の軽減に効果があると認識している。しかし、実施に当たっては、医療費未払い者に対しても福祉給付金を支払うことになることや現行のシステムを変更する必要があることなど、解決しなければならぬ問題がある。

これら問題解決の方策を早急に検討する中で、周知の期間等も含め平成18年度実施に向け検討したい。



問 昨年3月の国の通達により、福祉有償運送の実施には平成18年3月までに当該自治体の運営協議会設置・協議、事業者の運輸局許可を受けることが必要となった。その影響と対応について伺う。

答 社会福祉協議会が行っている送迎サービスが許可を受ける必要がある。運営協議会を8月か9月に立ち上げ、10月頃には認可申請するよう調整している。

問 西田川の河川改修の効果を高めるために、残る凱旋橋の早期改築が必要と考えるがどうか。

答 地権者との話も前進してきており、平成21年度完成に向けて管理者の県と連携、調整をとりながら事業推進を図りたい。

その他の質問
1 東港周辺整備

喚田孝博（新政クラブ）
福祉有償運送と西田川凱旋橋早期改築について

莊田博己(未来の会)

競艇場の警備業務等の合理化とアルコール販売

問 競艇場の警備は民間に委託している。だが、入札資格は5年間の公営競技の警備経験者となっている。これは、新規参入、競争原理の妨げとなっている。この条件を緩和できないか。

答 委託料が高いことは実感している。現在、緩和する方向で検討している。

問 アルコール販売が新しいファンを獲得し売上向上につながるなら、地元住民の理解が必要である。

蒲郡競艇場



「地域対策協議会」は透明で公平であるべきである。市民傍聴の許可と議事録の公開をする考えはあるか。

答 傍聴許可は協議会で諮って決めたい。議事録は閲覧する方向でいきたい。

その他の質問

- 1 市民会議室「書いてつ亭」
- 2 協働のまちづくり

鎌田篤司(新政クラブ)

企業誘致、流出防止の対策は

問 企業の誘致策と流出防止策について、どのような考えを持っているか。工業立地法の改正により、緑化率(敷地内の緑地割合)の変更が緩和を含め条例で定められるようになったが、その取り組みは。

答 誘致策・流出防止策は6月議会後に「地域産業振興勉強会」を立ち上げ、税の減免、補助金交付等を含め勉強したい。法改正による緑化率の制



企業誘致のため開発を進める相楽町民成地区

定は県条例で行う。今後も機会をとらえて県に規制緩和を要望していきたい。

その他の質問

- 1 繊維産業の活性化
 - 2 商店街の振興策
 - 3 万博後の観光事業
 - 4 学校教育
- ア ゆとり教育と学力の低下
イ 学校行事の予算化

鈴木源六(新政クラブ)

介護保険の充実を

問 平成18年度から3年間介護保険料はどのよ

うになるのか。

答 現行の保険料は5段階に分かれているが、第2段階を2つに分け、負担能力の低い層は現行の第1段階と同じ保険料率にと考えている。また、7段階設定も視野に入れ検討したい。

問 地域包括支援センターを創設することだが、その内容は。

答 総合的な相談窓口、介護予防マネージメントを担う機関である。国の指針では地域人口2万人から3万人に1カ所設けるようにとのことである。蒲郡市には在宅介護支援センターが5カ所あり、その施設を活用したいので、施設の意向を近いうちに調査したい。

その他の質問

- 1 JR塩津駅周辺整備



伴 捷文(市政クラブ)

経済発展と

観光交流立市宣言について

問 商工会議所がこのほど今後3年間のアクシオンプランを公表した。市はどのように対応するのか。

答 アクシオンプランの重点項目は新産業創出、繊維産業の活性化、産業振興、産業観光の推進であり、市が抱えている課題と符合している。商工会議所とは今後も連携を密にしたい。

問 「観光交流立市」を3月議会で宣言した。市民参加が不可欠と考えるが、その後の取り組み状況はどのようなか。

答 市民フォーラムの開催、西浦小学校1年生の温泉体験などを行い、市民の理解拡大を図ってきた。今後は、各種団体と連携をとり「観光ウィーク」の実施、3月17日の宣言日を「観光の日」とすること、温泉の開放、シンボルマーク・キャッチフレーズの公募等を考えている。

指定管理者の指定の手続き等を条例化

6月定例会
議案

6月市議会定例会は、6月10日から21日までの12日間の会期で開きました。議案8件と農業委員会委員の推薦を審議し、いずれも原案のとおり可決されました。蒲郡市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例の制定など主な内容をお知らせします。

条例の制定・改正

● 指定管理者の指定の手続き等に関する条例を制定
(第43号議案)

6月定例会の日程

10日	本会議 [会期の決定、議案説明、一般質問など]
13日	本会議 [一般質問]
14日	本会議 [一般質問]
15日	総務委員会
16日	経済委員会
21日	本会議 [委員長報告、質疑、討論、採決など]

地方自治法の改正により、公の施設の管理について、従来の管理委託制度が廃止され、民間の株式会社等にも管理委託することのできる「指定管理者制度」が創設されました。これに伴い、現在、管理委託制度で管理している施設は、平成18年9月までに「直営」か「指定管理者制度」のどちらかを選択しなければならなくなりました。

蒲郡市では、法改正を機に、全ての公の施設を対象に「指定管理者制度」を導入するか検討をしました。その結果、今回は21施設を

指定管理者制度を導入する施設 (21施設)

蒲郡市中部市民センター	蒲郡市北部公民館
蒲郡市南部市民センター	蒲郡市西部公民館
蒲郡市勤労福祉会館	蒲郡市塩津公民館
蒲郡市大塚デイサービスセンター	蒲郡市大塚公民館
蒲郡市三谷デイサービスセンター	蒲郡市西浦公民館
蒲郡市老人福祉センター寿楽荘	蒲郡市勤労青少年ホーム
蒲郡市生きがいセンター	蒲郡市民会館
蒲郡市竹島水族館	蒲郡文化広場
ユトリーナ蒲郡	蒲郡市公園グラウンド
蒲郡市小江公民館	蒲郡市民プール
蒲郡市東部公民館	

導入対象に決めました。

○ 総務委員会での主な質疑
問 原則として、指定管理者の公募を市内に事務所または事業所を有する団体に限定するのはなぜか。

答 税金は可能な限り地元に戻し、地域活性化につなげるためです。

また、公の施設は、市民のための施設であり、「協働のまちづくり」という考えが根本にあります。

ただ、施設設置の目的を効果的に達成するため必要があるときは、市外の団体も含め、公募することもできます。

問 条例案のなかには、個人情報等を漏洩した場合の罰則規定がないが、その場合

● 消防団員等の公務災害補償の基準の見直し (第44号議案)

政令の改正に伴い、非常勤消防団員等の手指、眼に障害を受けた場合の等級が改定されました。

答 個人情報保護条例の罰則規定が適用されます。

問 市民センターの業務範囲のなかに、「使用料の減免を決定すること」とあるが、このことで不公平を生じることはないか。

答 使用料の減免は市が減免規定を定めます。指定管理者は規定に基づいて減免を行うことから、裁量はありません。



指定管理者制度が導入されるユトリーナ蒲郡

■ 6月定例会で審議された議案の一覧

○条例の制定・改正

- ④③ 市の公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例の制定
- ④④ 市消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- ④⑤ 市消防団員退職報償金支給条例の一部改正
- ④⑥ 市火災予防条例の一部改正

○補正予算

- ④⑨ 平成17年度一般会計補正予算(第1号)
- ⑤⑩ 平成17年度モーターボート競走事業特別会計補正予算(第1号)

○同意

- ④⑦ 監査委員の選任

○その他

- ④⑧ 物品の購入(災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車)
 - 農業委員会委員の推薦

(○内の数字は議案番号。④③、⑤⑩は賛成多数で、それ以外は全会一致で可決されました。)

■ 陳 情

○「市場化テスト」や「給与構造見直し」に反対する意見書採択を求める陳情

提出者 愛知県国家公務関連労働組合共闘会議 議長 磯貝勝氏
 審査結果 不採択

○最低賃金の引き上げと公契約における賃金・労働条件の改善、均等待遇実現に関する陳情

提出者 愛知県労働組合総連合 議長 見崎徳弘氏ほか2名
 審査結果 不採択

○被爆60年にあたり、平和な世界と日本を求める陳情

提出者 自治労連愛知県本部 執行委員長 羽根克明氏
 審査結果 不採択

○自動車NOx・PM法に関連した施策実施を求める要請書

提出者 愛知ディーゼル車対策共闘会議
 審査結果 聞きおく

○日本船舶振興会への交付金の軽減及び公営企業金融公庫納付金制度の廃止へ向けて国に対し意見書の提出を求める陳情書

提出者 和田勝氏
 審査結果 聞きおく

●消防団員退職報償金を引き上げ

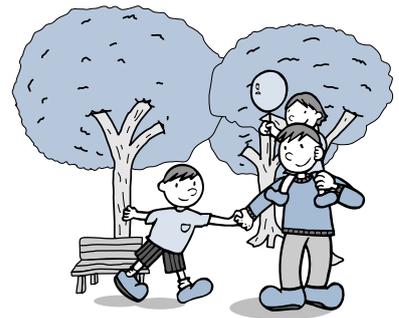
(第45号議案)

正副分団長、部長及び班長(勤続年数10年以上25年未満の団員に限る。)の退職報償金がそれぞれ2000円引き上げられました。

○総務委員会での主な質疑

問 今回の改正で引き上げの対象となる消防団員は何人いるのか。

答 平成17年度末において、退職するかは別として、10年以上15年未満の副分団



長は2名、部長は1名、班長は1名の計4名となります。15年以上の対象者はいません。

その他の議案

●監査委員の選任

委員廣濱幹雄氏の任期満了に伴い、同氏を引き続き委員として選任することに同意しました。

●農業委員会委員の推薦

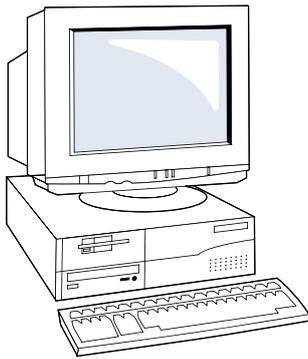
議会選任の農業委員に、太田文子さんと青山みわ子さんを推薦しました。

●物品の購入

災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車を6615万円で購入します。購入先は(株)モリタ名古屋支店です。

■ 6月定例会で議決された平成17年度補正予算

会計名	補正の主な理由	補正額	歳入・歳出 予算の総額
一般 会計 (第1号)	小中学生を対象とした愛知万博見学バス賃借料 ※5,455千円に4,800千円が追加され、10,255千円になりました。	千円 4,800	千円 24,763,800
モーター ボート競 走事業特 別会計 (第1号)	施設整備、管理費の追加。ナイターレースの開催日数増加による開催経費。他場とのレースの受託、委託日数の増加による開催経費。	13,176,850	71,528,850



インターネットで会議録閲覧

市議会会議録検索システム

蒲郡市議会では、会議録検索システムを導入しています。

このシステムにより、本議会会議録がインターネットでもご覧いただけます。

会議録検索システムは、探したいことば（キーワード：例えば「介護保険」、「行政改革」など）、発言をした議員名、一般質問の項目などから、会議録の中の項目を探し出して表示させることができます。

検索語入力画面

ここに、探したいことばを入力します。

検索実行
条件クリア
初期状態に戻す
操作説明

発言者を指定する場合は
発言者リストからお選びください。
質問・質問者を選ぶ
答弁・説明者を選ぶ

発言内容の指定
目次 名簿 議題 議長発言 質問・質疑 説明・答弁

検索語の指定
検索語全てを含む 検索語いずれか 同義語を展開して検索

【平成17年】

会議名
定例会
平成17年 3月 定例会
一般質問通告書
平成17年 3月 一般質問通告書
議案目録
平成17年 3月 議案目録

検索語入力画面
ここに、探したいことばを入力します。

閲覧画面
最初の表示では、会議名が表示されています。そのまま選択すれば、会議録をとおして読むことができます。また、検索後は、該当箇所が表示されます。

一般質問通告
一般質問通告書から該当のページを表示できます。

会議録の検索は、平成7年度の本会議から行うことができます。

また、これからの分につきましては、定例会終了後約2カ月で、検索システムに掲載する予定です。

市議会会議録検索システムは、市議会のホームページ <http://www.city.gamagori.aichi.jp/gikai/> からどうぞ

委員会通信

三常任委員会 管内視察を行う

総務、経済、文教の三常任委員会は、それぞれ5月下旬に委員会を開き、関係部署の事務概要の説明を受けるとともに、管内視察を行いました。

総務委員会は5月24日に開き、消防本部のAED

(自動体外式除細動器)、市民活動サポートセンター、(仮称)海陽中等教育学校、

三谷町財産区内のふきぬきホテル跡地、西浦町財産区内の原山採石場跡地を視察しました。

経済委員会は5月23日に開き、市民活動サポートセンター、第2南山配水池、駅南土地区画整理事業、形原漁港大橋先線、クリーン



AEDの理解を深める総務委員

センター、蒲郡競艇場を視察しました。文教委員会は5月31日に



クリーンセンターを視察する経済委員

開き、市民病院、(仮称)第3眺海園建設予定地、東部小学校、ソフィア看護専



図書館にて英文多読コーナーの説明をうける文教委員

門学校、浜町福祉センター、市民活動サポートセンター、図書館を視察しました。

他市町村議会からの視察一覧

《2月》

- 3日 静岡県焼津市／ラグーナ蒲郡
- 8日 香川県丸亀市／競艇事業
- 9日 埼玉県北本市／クリーンセンター
- 10日 高知県宿毛市／観光事業
- 14日 大阪府藤井寺市／防災対策
- 15日 埼玉県深谷市／民間木造住宅耐震診断

《3月》

- 23日 茨城県守谷市／ラグーナ蒲郡
- 27日 佐賀県唐津市／競艇事業
- 29日 栃木県市貝町／農業振興

《4月》

- 26日 長野県千曲市／クリーンセンター
- 27日 福岡県中間市行橋市競艇組合議会／競艇事業
- 28日 大阪府柏羽藤環境事業組合議会／クリーンセンター
- 28日 愛媛県宇和島市／なんでも出前講座、事務事業評価システム

《5月》

- 11日 茨城県総和町／防災関係
- 12日 宮崎県都城市／給食センター
- 17日 青森県青森市／観光交流立市宣言
- 20日 福岡県中間市行橋市競艇組合議会／競艇事業
- 25日 宮城県川崎町／競艇事業
- 26日 沖縄県石垣市／ラグーナ蒲郡、バリアフリーポンツーン

《6月》

- 6日 豊川市／事務事業評価
- 15日 秋田県平鹿町／クリーンセンター
- 30日 千葉県富里市／クリーンセンター、最終処分場

9月定例会の 開会日・日程は

9月市議会定例会は、9月5日(月)から開かれる予定です。詳しい日程は、8月30日(火)に開かれる予定の議会運営委員会で決まりますので、それ以後にお問い合わせください。

本会議の傍聴を希望される方は、会議当日、市役所7階の議会事務局で手続きをしてください。

また、本会議の日程と一般質問の内容は、市役所のロビーや市議会ホームページでもお知らせします。

議員表彰 7氏が受賞

竹内政住議員が30年以上、鎌田篤司議員が15年以上、土屋善日議員、白井邦男議員、鈴木八重久議員、藤田勝司議員、坂部傑議員が10年以上市議会議員として市政の発展に尽くされた功績により、全国市議会議長会会長と東海市議会議長会会長から表彰されました。



5月の臨時議会で東三河初の女性議長が誕生しました。女性ならではの細やかな心配りで、議会の活性化がおおいに期待できるのではないのでしょうか。

さて、6月議会では「安全・安心のまち」、「市民協働」、「行政改革」など様々な視点から15名の議員が一般質問にたち、活発な議論が展開されました。

条例案件では、「指定管理者の選定」に関して、2つの会派から反対討論が行われました。ところが、その理由は全く別の立場であり、まさに多様化する市民意識を議会が反映していると言えるのではないのでしょうか。

提出された陳情案件では、各常任委員会で賛成・反対の討論が行われ、市民の様々な立場が委員によって代弁されました。

また、今議会では、市長も議員もクールビズ! 質疑・答弁ともノーネクタイ姿が印象的でした。

[議会だより編集委員]

◎伊藤 勝美 ○斉藤 泰一 大場 久充
小林 武男 伴 捷文 柴田 安彦
荘田 博己 坂部 傑

(◎は委員長、○は副委員長)



私たちが、編集委員です。

議会日誌

4月21日から7月21日

4月	6月
27日 議会運営委員会理事会	1日 6月定例会招集告示 議案説明会
5月	6日 議会運営委員会 議会運営委員会理事会
2日 5月臨時会招集告示	10日~21日 6月定例会
6日 議会運営委員会 議会運営委員会理事会	21日 議会だより編集委員会
10日 議会運営委員会理事会	29日 国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会
12日~13日 5月臨時会	7月
12日 議会運営委員会	4日~5日 議会運営委員会行政視察
13日 議員親睦会総会	8日 議会だより編集委員会
16日 正副委員長会議 議会運営委員会理事会	11日~13日 経済委員会行政視察
23日 経済委員会管内視察	14日 議会だより編集委員会 議会運営委員会理事会
24日 総務委員会管内視察	19日~21日 文教委員会行政視察
30日 議会運営委員会理事会	
31日 文教委員会管内視察	

議会のことば - 推選

「推選」は、選挙の一種で、投票によるかわりに簡易な方法としてとられる指名推選のことをいいます。

指名推選は、指名人を定め、その者が指名した者をその選挙の当選人とする方法です。指名人の指定と指名人の指名した者を当選人にすることのすべてに全員異議がないことが推選の要件になります。

1人でも反対があった場合には、原則である投票の方法にかえることになります。

5月臨時会では、蒲郡市幸田町衛生組合議会議員の選挙で指名推選が行われ、議長が指名人となり、7名の議員が選出されました。